

種まき 通信No.81

いつも市民派 ずっと無党派
小林じゅん子 議会だより

事務所 〒399-8301長野県安曇野市穂高有明9972-1
Tel. 0263-83-4387 (090-4546-3496) Fax. 0263-83-4938
http://junko.voicejapan.net/ メールはjunko@childnet.ne.jp



発行日：2022年11月9日
発行者：小林純子

◆安曇野市議会9月定例会 小林じゅん子の一般質問◆

Q1. 150年変わらない学校に発想・構造転換を この150年で変わらないものの最たるは 公教育の小中学校

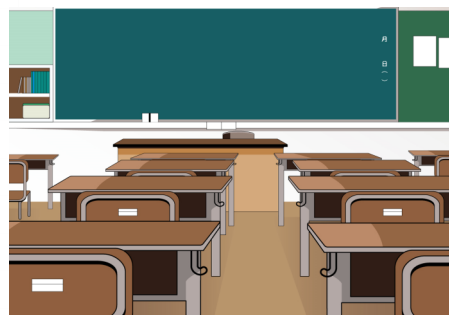
「150年変わらない学校の構造」というのは、みんなで同じことを、同じペースで、同じようなやり方で、同質性の高い学年学級制の中で、出来合いの問いと答えを勉強するベルトコンベア型のシステムのこと。

150年前、明治政府は経済と軍事を発展させ国を強くするために国民の教育が急務と考え、教育制度に効率的な学年別の一斉授業を採用し今日に至っている。当初の教育目標は果たされたが、時代が変わり、社会が変わり、人々の意識や生活も変わってきたのに、150年前と変わらぬ学校システムでいいのか。不登校、いじめ、体罰、虐待、小1プロブレム、中一ギャップ、落ちこぼれ・吹きこぼれ、同調圧力、空気を読み合う人間関係等々、今日の学校で起こっている様々な問題は、「150年変わらない学校」の構造的な問題ととらえることができる。

Q1【小林質問】 明治の学制公布から150年、みんなで同じことを、同じペースで、同じようなやり方で、同年齢の学年学級制の中で、教科ごとの出来合いの問いと答えを一斉に勉強させる学校のシステムは変わらない。不登校、いじめ、体罰、虐待、落ちこぼれ、吹きこぼれ、同調圧力等々、今日の学校で起こっていることは、この変わらない学校の構造的な問題にあるのではないか。

【教育長】 構造的な問題が全てではないと思うが、講義中心の一斉授業の形態、画一的なカリキュラムなど、なかなか変えられずにいることも事実だ。それでも現時点で、学校は理想とする方向に進んでいる手応えはある。

【小林質問】 現在の市教委・学校の取り組みは従来のシステムに乗ったもの。そこを発想転換して、学びの個別化、子



▲教室の形は教育観にも大きく影響します

どもたちの探究心・好奇心をカリキュラムの中核に据えたプロジェクト授業、通知表等の評価手段を変える等々、学校の構造転換として提案するが、どうか。

【教育部長】 提案を参考に検討する。

【小林質問】 150年変わらぬ学校の構造の中で「学校や教師は間違っはならない、正しくあるべき」という呪いにも似たものが内面化しており、学校や教育行政が自己保身の対応になっていることはないか。最近の学校事故・事件から問う。

【教育長】 正しさに縛られているという認識はない。子どもを力によって制することは、教育の場から排除すべき。管理には、子どもや保護者に不安を与えぬよう、丁寧な説明が大事であるとの教訓を得た。

子どもが行きたがらない学校?! なんとかしないと ～長野県の不登校児童・生徒数、9連続で増加～

「令和2年度の調査によると、長野県の小・中学校における不登校児童生徒数は3,802人で、8年連続で増加しており、全国と同様に過去最多となっています。」という話題から入った私の一般質問ですが、10月27日公表の文科省の最新調査データによると「令和3年度は小中24万人で最多、9年連続増加」、長野県でも905人増えて4,707人、過去最多。という結果となったとのこと。

増加の背景としては、次のように報告されています。「休養の必要性等を明示した「教育機会確保法」の趣旨が浸透したこと、コロナ禍における生活環境の変化により、登校する意欲が湧きにくい状況があったことなどが考えられる。」

つまり、「むりに登校しなくてもいいことになったから」「コロナの影響で、登校する意欲が湧きにくかったから」と分析しており、「むりしても登校しなければならぬ学校や、登校する意欲が湧かないような学校」に問題があるとは思っていないようです。

今、考えなくてはいけないのは、「学校に行きたくない子ども」のことだけでなく、「子どもが行きたがらない学校」をどうするかではないでしょうか。そこで、私は声を大にして言いたいのです。

自然栽培米 学校給食に

自然栽培とは農薬や化学肥料だけでなく、有機肥料も使わない農法です。安全でおいしいお米です。こうした自然栽培や有機栽培に関して、農水省は学校給食に導入するための支援を始めました。有機農業の産地づくり、安曇野市ではまたこれからですが、学校給食では昨年1回、今年も1回、自然栽培米が提供されました。拡大に期待します。

南部給食センター・特別献立紹介より

◆ 7月21日・安曇野の日献立 ◆
ごはん(自然栽培米) 夏野菜カレー
わさびコロック
フルーツゼリー 牛乳



「150年変わらない学校に発想転換・構造転換を」と。

明治の学制公布から変わらぬ学校の構造は、戦後の高度経済成長期(1955年頃～1973年頃)の管理教育のベースとなり、管理教育の弊害は、子どもたちにとっては「学校の不条理」として、無意識のうちに浸透していったのではないのでしょうか。私自身が、まさにその世代で、学校への信頼と違和感のせめぎ合いの中で子育てをしてきました。

文科省は10年ごとに学習指導要領の改訂をしながら、子どもたちにどんな力を育むのかという教育目標を見直してきました。加えてこの数年は、グローバル化によって激しく変化する社会情勢を背景に、『教育改革を!』と強い姿勢です。

しかし、150年変わらない学校の構造や、そこで生き続けている「子どもを大人に従うべき存在とする管理主義の考え方」が変わらない限り、学校は子どものたちのための場所にはなりえないのではないのでしょうか。

「学校の不条理」に敏感になっている子どもたちは、既存の学校に違和感を感じ、行きたくないと思ったり、行けなくなってしまったり、「不登校」という形で表現しているように思えます。

種まき通信No.81

「種まき通信」の郵送を希望される方は電話・メール等でお申し込み下さい。
◆「種まき通信」は年4回発行しています。そのうちの1回は新聞折込にてお届けしています。毎号の郵送をご希望の方はお申し出ください。

この数字は？

賛成9・反対12

故安倍晋三元首相の「国葬」中止を求める意見書
議員提案するも
賛成少数で不採択

安倍晋三元首相の国葬が9月27日に
行われました。まだ9月議会の会期中の
ことでした。それに先立つこと2週間
前、安曇野市議会でも「国葬」中止を求
める意見書を国へ上げようと、共産党安
曇野市議団の3人と、私を含む無所属議
員3人が、意見書の議員提案をしようと
まとめました。

9月15日の本会議で審議、国葬に賛成
意見7人、国葬に反対意見5人あつたの
ち採決したところ、国葬反対の意見書に
賛成したのは9人で、残念ながら不採択
となってしまいました。（下の賛否の一
覧表をご覧ください。）以下は、小林
じゅん子の意見です。

国葬中止を求める意見書に 賛成しました

戦後、国葬令が廃止されたのは、
1946年に公布された日本国憲法によっ
て「国民主権」の国となったからです。
民主制は、人民が権力を握り、行使する
体制です。権力は腐敗するという言葉が
ありますが、私たちは人類の苦い歴史か
らそのことを学び、「国民主権」によ
り、例外なく権力を独占させないことに
決めたのです。

安倍元首相が、国民にどれほどの利益
をもたらしたとしても、高い評価を受け
たとしても、それは国民の代表として国
の政治を一時期司っていたからにすぎ
ず、私たちと平等な地位にある一国民に
すぎません。国葬という特別な扱いをす
ることは、民主主義国家にふさわしくあ
りません。国葬には反対します。

◆決算審議は政策の事後評価 予算編成の基本◆

決算は、市の施政方針、当初予算で示された重点課題の事後評価であり、将来にわたってより効率的な行政運営を行うための予算編成の基本となるものとして重要な意味を持ちます。決算から見えてきた課題・問題を後年の予算執行に役立てる、そのためにも決算質疑は重要です。以下に、3議員による4件の質疑を紹介します。

》 Q.教育支援センター運営事業の運営状況に関連して～不登校は誰にも起きうるとい認識を持ち、児童生徒の多様な学びの場の保障として、該当する児童生徒（家庭）に対し、教育費の直接的な経済支援が必要ではないか。

A.フリースクール等の事業者からの意見を聴取し、検討しているところだ。

》 Q.環境保全型農業の推進に関連して～作物の生育に合わせ、時間が経ってからでも肥料の効果を発揮するようにプラスチックで肥料成分を被覆加工した、いわゆるイッパツ肥料は、肥料成分が溶け出した後のプラスチックの殻が河川や海洋までも流出し、マイクロプラスチックの環境汚染問題となっている。持続可能な農業、環境保全型農業の推進にあたって、早急に対策を考えていかなければいけない課題だが、市の認識と取り組みは。

A.生産者向けに県の農業再生協議会が作成したパンフレットで、被覆肥料の被膜殻流出防止策のお願いをしている。

》 Q.基金の運用について～①基金の運用利回りは？ ②資産運用の評価や指標は？ ③地方債の選定基準は？（基金とは自治体の貯蓄のこと。目的別に様々な基金がある。その目的と必要性に応じ、積立・取崩を行っている）

A.①令和3年度末の基金残高は197億円余。資金運用方針に基づき、定期預金（96億円）と債券（31.3億円）にて運用し、運用収益（3,113.9万円）は各基金へ配分。利回りは0.206%。
②運用益確保を目的としていないので、特に指標は設けていない。
③市の資産運用基本方針に基づき購入している。

》 Q.マイナンバーカードと健康保険証を一体化させたマイナ保険証について～マイナンバーカードを健康保険証として受診した場合、追加負担が生じることについて市民に周知しているか。

A.すべての医療機関でマイナ保険証に対応しているわけではないと、説明している。

ANC アリーナのスケートボード・エリアの改善に関する陳情 採択

ANCアリーナ敷地内に設置されたスケートボードエリアをより多くの市民や子どもたちが親しみやすく、安全でかつ楽しく利用できるよう、改善してほしいという趣旨の陳情。
（全会一致で採択）



あづみ野ランド※の大規模改修計画に 再び 住民監査請求

「プールを残して改修すると10億7,800万円もかかるのでプールは廃止」という説明でしたが、決った後から「現状維持で必要最小限の改修だと3億2,000万円」という見積りが出てきてビックリ！そこで、3～4億円でプールを残すプランを再検討してもらうために、穂高広域施設組合の監査委員に「あづみ野ランドの7億円大規模改修のための設計業務委託料3,878万6,000円の支出の差し止め」を求めて、7月15日、小林じゅん子を代表に5人の住民が連名で住民監査請求を行いました。

あづみ野ランドのプール残して!!

結果は「却下」。訴えの要件を満たしていないので監査しません＝「門前払い」となってしまいました。そこで「訴えの要件は満たしており、監査に値する」という説明と反論を追加して、10月20日に再び住民監査請求を行いました。

令和4年9月定例会

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 退：退席 議：議長

議案等 番号	議案名	議員名	議決日	議決結果	議席番号																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議員提出議案第7号	故安倍晋三元首相の「国葬」中止を求める意見書		9/15	原案否決	矢澤 毅彦	中村 芳朗	大竹 啓正	増井 裕壽	岡村 典明	辻谷 洋一	橋本 裕二	白井 泰彦	小林 陽子	松枝 功	竹内 秀太郎	中村 今朝子	林 孝彦	井出 勝正	増田 望三郎	猪狩 久美子	召田 義人	内川 集雄	宮下 明博	小林 純子	一志 信一郎	平林 明
					○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	×	議

※安曇野市を含む6市町村で構成する穂高広域施設組合が運営するゴミ焼却施設（穂高クリーンセンター）の余熱を利用した施設。